

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		生涯学習推進事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73111	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	誰もが生きがいを持ち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	ふかや市民大学実施要綱					
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民大学については、市内公民館等において、月2回を原則として全20回の講座を実施するものである。内容は「郷土学」「ボランティア」「健康・医療」「安心・安全」「現代社会」「芸術」に基づいている。また、パソコン講習事業については、深谷・上柴公民館において初心者を対象に実施するものである。								
目的 ※何のために		生涯学習活動の可能性を広げるため								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		市民大学・パソコン講習を開催する								
成果 ※何を求めるか		まちづくり及びひとづくりの推進者として活動する方を育成し、また、生涯学習活動への参加を促す。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	パソコン講習事業〔生涯学習スポーツ振興課〕	0
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	パソコン講習事業〔深谷公民館〕	368,513
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	パソコン講習事業〔上柴公民館〕	375,529
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	市民大学運営事業〔生涯学習スポーツ振興課〕	651,695
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	ふかや市民大学生きがい推進事業〔生涯学習スポーツ振興課〕	189,544
本事業の 主な業務		・市民大学の開催					・			
		・市民大学運営委員会の開催					・			
		・パソコン講習会の開催					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画	市民大学パソコン講習ふかや市民大学生きがい推進事業	市民大学パソコン講習ふかや市民大学生きがい推進事業				
事業費	予算(現額)	2,023,000	2,061,000	2,331,000	2,370,000	
	決算額	1,246,991	1,585,281	0	0	
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
人件費	他特定財源	530,000	651,695	800,000	800,000	
	一般財源	716,991	933,586	1,531,000	1,570,000	
	総事業費試算	7,844,619	8,825,273	10,855,242	10,894,242	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	パソコン講座開催日数	目標値	日	100.00						
		実績値		69.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年100回の開催を目標値として設定している。 / 開催した回数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	市民大学応募者数	目標値	人	80.00						
		実績値		80.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			定員に達することを目標としているため。 / 定員数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	パソコン講座参加者数	目標値	人	1,000.00						
		実績値		1,092.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間を通して参加できる目安。ミニ講座含む。 / 参加した人数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	「ふかや市民大学」の満足度	目標値	%	98.00						
		実績値		92.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 3	校友会登録率	目標値	%	90.00						
		実績値		94.10						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 4	こども大学応募者数	目標値	人	50.00						
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	コロナ禍におけるパソコン教室（深谷公民館・上柴公民館）は、感染症予防対策を徹底し、69回開催することができた。目標値を下回っているが、昨年の実績を上回ることができた。また、市民大学については、広報や公民館だより等に加え、商工会議所・商工会を通じて募集を行ったことで、定員と同数（80人）の応募があり、目標を達成することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	・パソコン教室参加者数（1,092人）は、目標値（1,000人）を達成できた。 ・ふかや市民大学の満足度（92%）は、目標値（98%）に近い実績であり高い。 ・校友会登録率（94.1%）は、目標値（90%）を達成できた。 ・子ども大学応募者数（58人）は、目標値（50%）を達成できた。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	市民大学、子ども大学の募集に当たっては、電子申請を取入れ、応募者の利便性の向上や事務処理の効率化を図っている。また、アンケート調査の実施についても電子申請を活用し効率的に事務を進めている。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	生涯学習推進事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>コロナ禍において、感染症予防対策を徹底し、各種事業（パソコン教室・市民大学・生きがい推進事業等）を計画どおりに展開することができた。これら事業は、市民の関心が高い取組であることから、応募者数は定員を上回っている状況である。</p> <p>特に、市民大学については、受講生の満足度が高く、卒業生の約94%が校友会に加入しており、卒業後も生涯学習活動に取り組める仕組みづくりとして、大きな役割を果たしている。引き続き、これら生涯学習事業を展開していく。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荏塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

